

# 情報通信手段としての地域 コミュニティの現状と課題

首都大学東京 玉野 和志

# 1. 古典的な手段としての自治会・町内会

- 自治会・町内会の組織を使った情報伝達：  
回覧板，通知，広報
- 自治会・町内会関連組織を使った周知，  
動員：講座，セミナー，啓発活動
- 学校，警察などの公的機関との日常的な関係  
が強み
- 自治会・町内会を通じて連絡できる住民層の  
偏りに注意が必要

## 2. 比較的新しい形態としての市民活動団体

- テーマ別市民活動団体の興隆
- 拠点施設：コミセン，まちづくりセンター，市民館
- テーマ別窓口機関：社会教育施設，保健所，社協，福祉施設，児童館，保育所
- 当然偏りはあるが，テーマによっては有効，情報伝達そのものに協力する場合もある

### 3. もっとも新しい形態としての地域ネットワーク

- 若いお母さんたちの活動形態の変化：集団からネットワークへ
- 口コミの延長としてのSNSを介した連絡網
- インターネット，SNSを直接活用した情報発信の試み